

市政モニターアンケート「自転車の利用に関する意識調査」(平成30年11月実施)の結果

【調査目的】 自転車は子どもから高齢者に至るまで、日常的で身近な交通手段として幅広く利用されており、とりわけ本市は比較的平坦な地形であることから、全国的に見ても特に自転車の利用が盛んなまちです。一方、市内の自転車の関連する事故は平成29年に4,458件発生し、全交通事故のうちの約4割を占めている(全国平均約19%)ほか、自転車盗難の多発、放置自転車の問題など、自転車に起因する様々な社会的課題もあります。
そこで、今後の自転車の安全利用の促進施策の参考とするため、アンケートを実施しました。

【実施期間】 平成30年11月16日～11月26日

【調査票】 調査票(PDF及びエクセルデータ添付)

【留意点】 ※質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

※数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。

したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

また、複数回答の質問については、回答者数を母数に比率表示しています。

※本アンケートは無作為抽出によるものではないため、調査結果は「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

【回答者数と内訳】

626件/796件(78.6%)

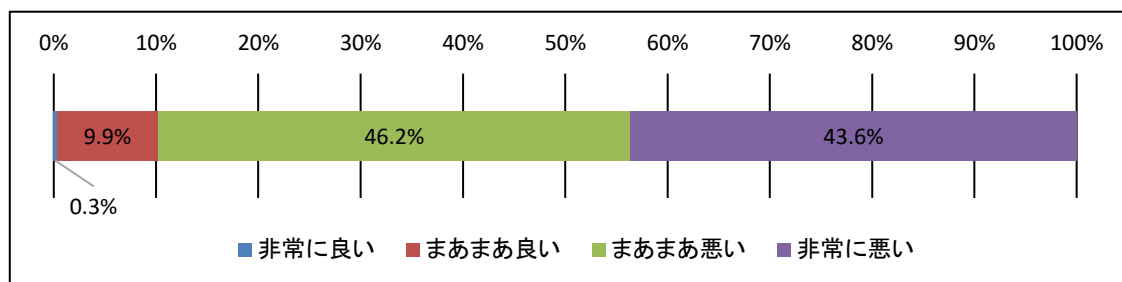
	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
年代	46	127	137	156	160	626
	7.3%	20.3%	21.9%	24.9%	25.6%	100.0%

【結果の概要】

問1 あなたは、大阪市民の自転車運転マナーについて、普段どのように感じていますか？

- 市民の自転車マナーについて「非常に悪い」「まあまあ悪い」を合わせた割合は、89.8%であり、多くの人がマナーが悪いと感じている。

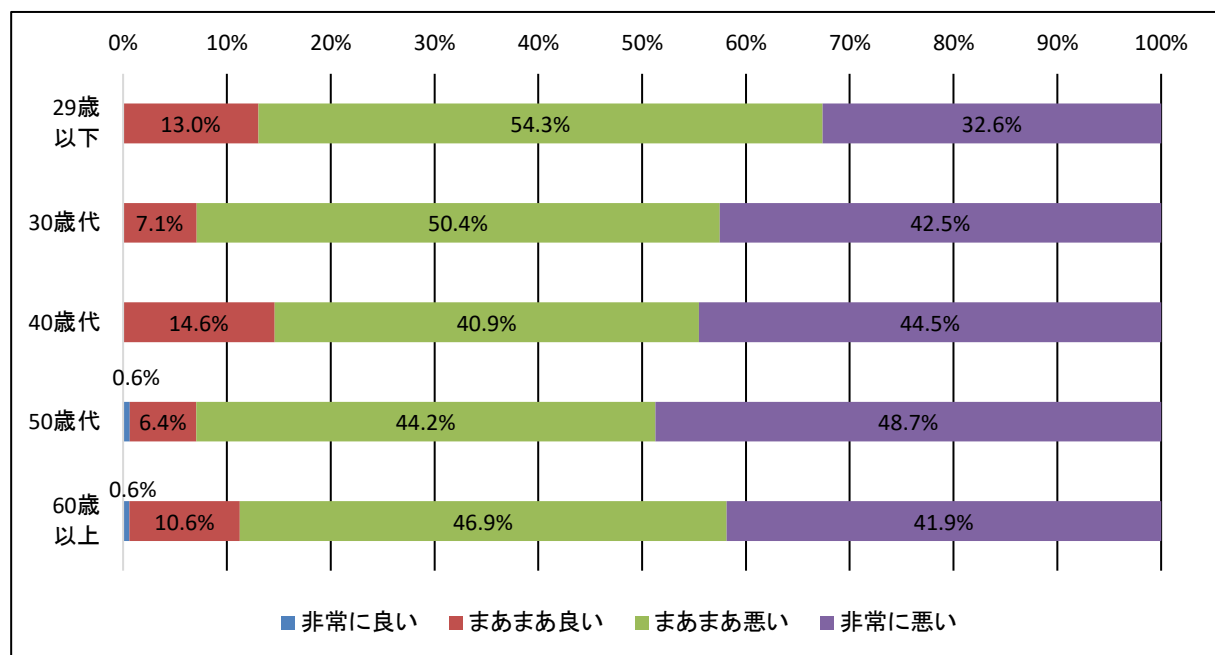
選択肢	件数	割合
非常に良い	2	0.3%
まあまあ良い	62	9.9%
まあまあ悪い	289	46.2%
非常に悪い	273	43.6%
合計	626	100.0%



【年代別の自転車マナーに対する感想】

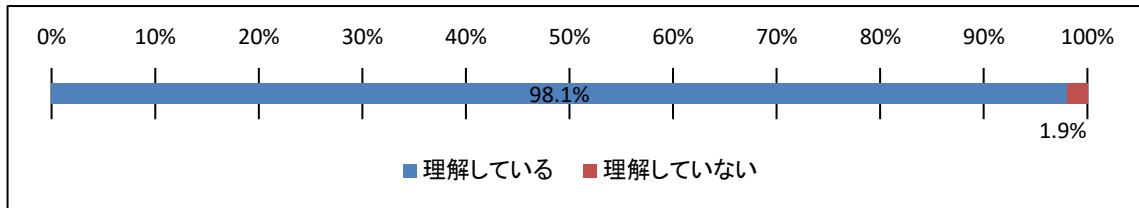
- 全ての年代でほとんどの人が「非常に悪い」「まあまあ悪い」と感じており、年代と自転車マナーへの感想に有意な相関関係は見られない。

	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
非常に良い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%
まあまあ良い	6 13.0%	9 7.1%	20 14.6%	10 6.4%	17 10.6%
まあまあ悪い	25 54.3%	64 50.4%	56 40.9%	69 44.2%	75 46.9%
非常に悪い	15 32.6%	54 42.5%	61 44.5%	76 48.7%	67 41.9%
合計	46 100.0%	127 100.0%	137 100.0%	156 100.0%	160 100.0%



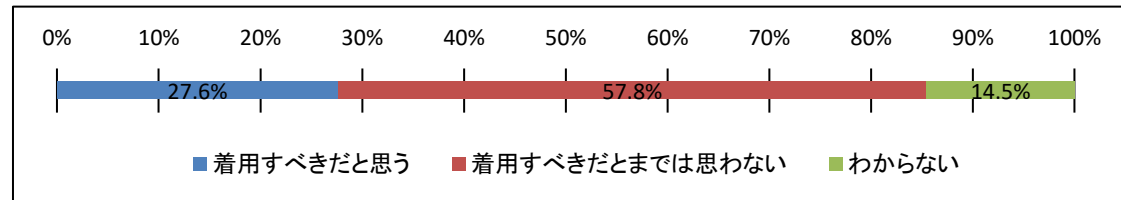
- 問2 近年、自転車が加害者となる交通事故が報道等で大きく取り上げられることもあります。あなたは、自転車が重大な事故を引き起こす危険性がある車両であることを理解していますか？
- ほとんどの人が自転車が重大な事故を引き起こす危険性がある車両であることを理解している。

選択枝	件数	割合
理解している	614	98.1%
理解していない	12	1.9%
合計	626	100.0%



- 問3 自転車運転中の事故で、ヘルメットを着用せずに頭部損傷し死亡するケースが、高齢者を中心に数多く報告されています。あなたは事故の被害を軽くするために、自転車に乗るときにはヘルメットを着用すべきだと思いますか？
- 「着用すべきだと思う」が27.6%にとどまり、6割に近い人がヘルメットを着用すべきとは思っておらず、ヘルメット着用意識は低いと言える。

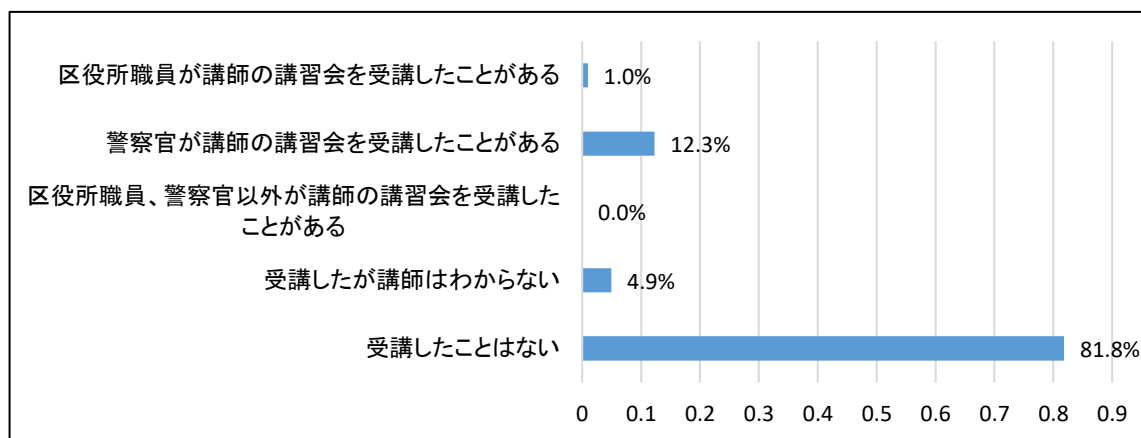
選択枝	件数	割合
着用すべきだと思う	173	27.6%
着用すべきだとまでは思わない	362	57.8%
わからない	91	14.5%
合計	626	100.0%



問4 あなたは、自転車を安全に利用するための交通ルールとマナーを学ぶ講習会を受講したことはありますか？(当てはまるものを全て選択してください。)

- 8割以上の方が講習会を受講したことがなく、受講率は低い。
- 受講した経験のある人の中では、警察官によるものが最も多い。

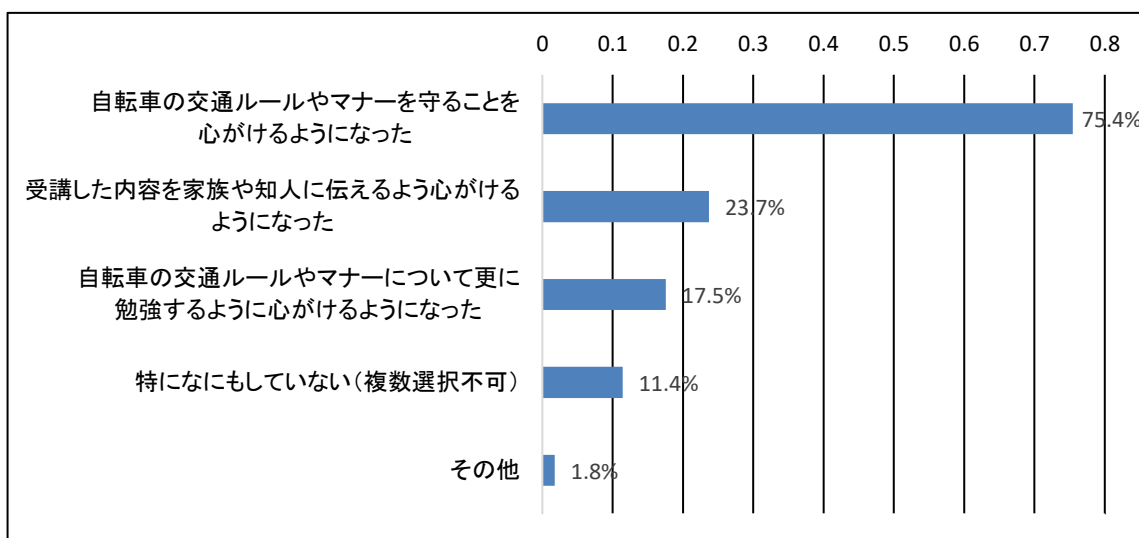
選択枝	件数	割合
区役所職員が講師の講習会を受講したことがある	6	1.0%
警察官が講師の講習会を受講したことがある	77	12.3%
区役所職員、警察官以外が講師の講習会を受講したことがある	0	0.0%
受講したが講師はわからない	31	5.0%
受講したことはない(複数選択不可)(→問6へ)	514	82.1%



問5 問4で、「区役所職員が講師の講習会を受講したことがある」、「警察官が講師の講習会を受講したことがある」、「区役所職員、警察官以外が講師の講習会を受講したことがある」、「受講したが講師はわからない」を選択した方にお聞きします。
あなたは講習会を受講したことにより、自転車の交通安全に対して心がけるようになったことはありますか？（当てはまるものを全て選択してください。）

●講習会を受講したことにより、自転車の交通ルールやマナーを守ることを心がけるようになった人が7割を超えており、講習会の受講による交通ルール・マナーの遵守意識の向上が伺える。

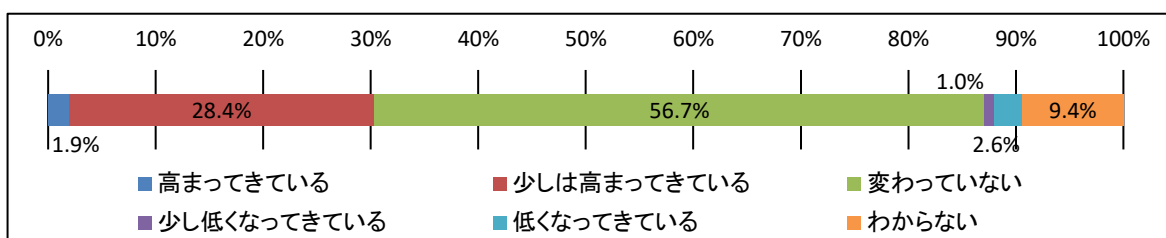
選択枝	件数	割合
自転車の交通ルールやマナーを守ることを心がけるようになった	86	75.4%
受講した内容を家族や知人に伝えるよう心がけるようになった	27	23.7%
自転車の交通ルールやマナーについて更に勉強するよう心がけるようになった	20	17.5%
特になにもしていない(複数選択不可)	13	11.4%
その他	2	1.8%



問6 平成28年4月より、大阪府における自転車交通事故の防止と、被害者保護を目的とした自転車条例が施行され、条例化に合わせた様々な啓発イベントが行われています。
こうした動きをふまえ、昨年度に比べ、市民の自転車の安全意識は高まってきていると感じますか？

●市民の自転車の安全意識について「変わっていない」が56.7%と半数以上を占め、「少しは高まってきている」「高まってきている」と感じている市民が約3割であり、自転車の安全意識の向上を感じている人が少ない。

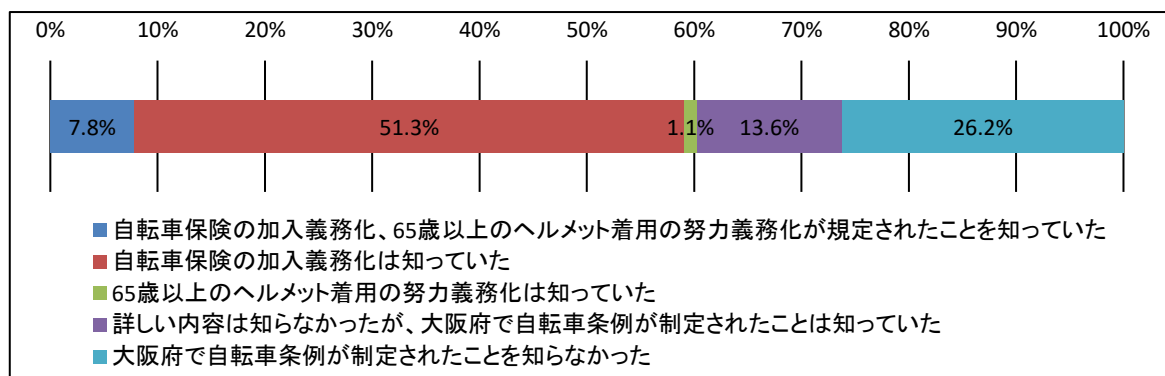
選択枝	件数	割合
高まってきている	12	1.9%
少しは高まってきている	178	28.4%
変わっていない	355	56.7%
少し低くなってきている	6	1.0%
低くなってきている	16	2.6%
わからない	59	9.4%
合計	626	100.0%



問7 問6の大阪府自転車条例の主な特色として、自転車運転者の自転車保険への加入義務化や、65歳以上のヘルメット着用の努力義務化が上げられています。あなたは、このような大阪府の自転車条例についてどの程度知っていましたか？

- 「大阪府で自転車条例が制定されたことを知らなかった」が26.2%で、同条例が制定されていたことを知っていた市民は約8割であり、認知度は高い。
- 自転車保険の加入義務化を知っていた割合は51.3%であり、保険の加入義務化については一定の周知は図られていると言える。

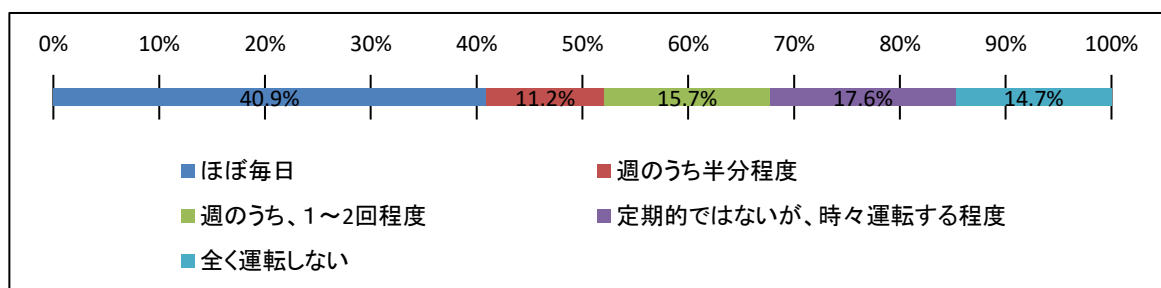
選択枝	件数	割合
自転車保険の加入義務化、65歳以上のヘルメット着用の努力義務化が規定されたことを知っていた	49	7.8%
自転車保険の加入義務化は知っていた	321	51.3%
65歳以上のヘルメット着用の努力義務化は知っていた	7	1.1%
詳しい内容は知らなかったが、大阪府で自転車条例が制定されたことは知っていた	85	13.6%
大阪府で自転車条例が制定されたことを知らなかった	164	26.2%
合計	626	100.0%



問8 あなたは自転車をどの程度運転していますか？

- 「ほぼ毎日」が約4割であり、「ほぼ毎日」「週のうち半分程度」を合わせると52.1%であり、半数の人が自転車をよく利用している。

選択枝	件数	割合
ほぼ毎日	256	40.9%
週のうち半分程度	70	11.2%
週のうち、1～2回程度	98	15.7%
定期的ではないが、時々運転する程度	110	17.6%
全く運転しない	92	14.7%
合計	626	100.0%

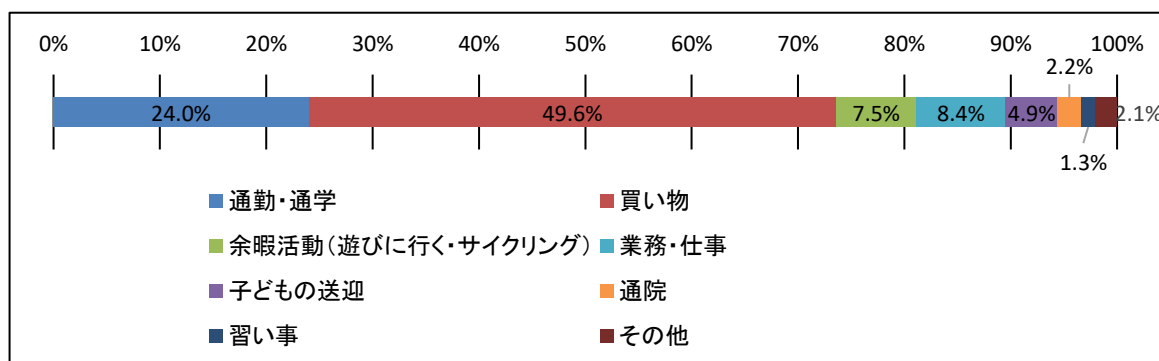


※問9以降の設問に対しては、問8で「まったく運転しない」を選択した人を除外している。

問9 あなたの自転車の主な用途は何ですか？

- 自転車を利用している人(534人)の約半数の人が「買い物」を主な用途としている。
- 2割を超える人が「通勤・通学」を主な用途としている。

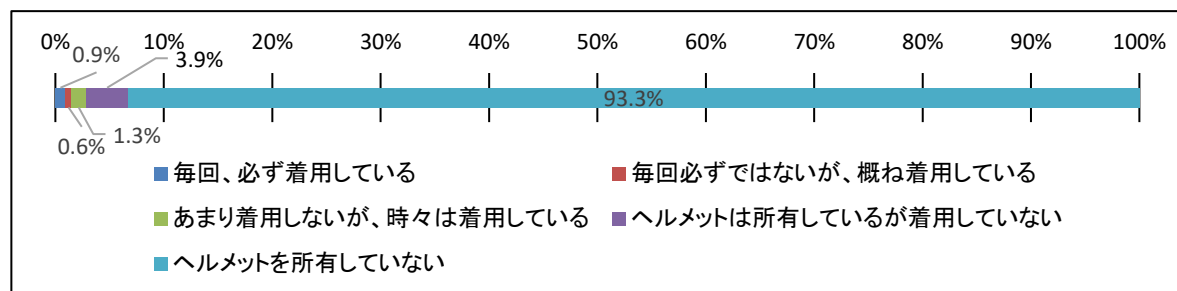
選択枝	件数	割合
通勤・通学	128	24.0%
買い物	265	49.6%
余暇活動(遊びに行く・サイクリング)	40	7.5%
業務・仕事	45	8.4%
子どもの送迎	26	4.9%
通院	12	2.2%
習い事	7	1.3%
その他	11	2.1%
合計	534	100.0%



問10 あなたは自転車に乗る時に、自転車用ヘルメットを着用していますか？

- 「毎回」、「概ね」及び「時々」着用している合計の割合が2.8%であり、ヘルメット着用率は極めて低い。
- 「ヘルメットを所有していない」が9割を超えており、ヘルメットの普及率は極めて低い。

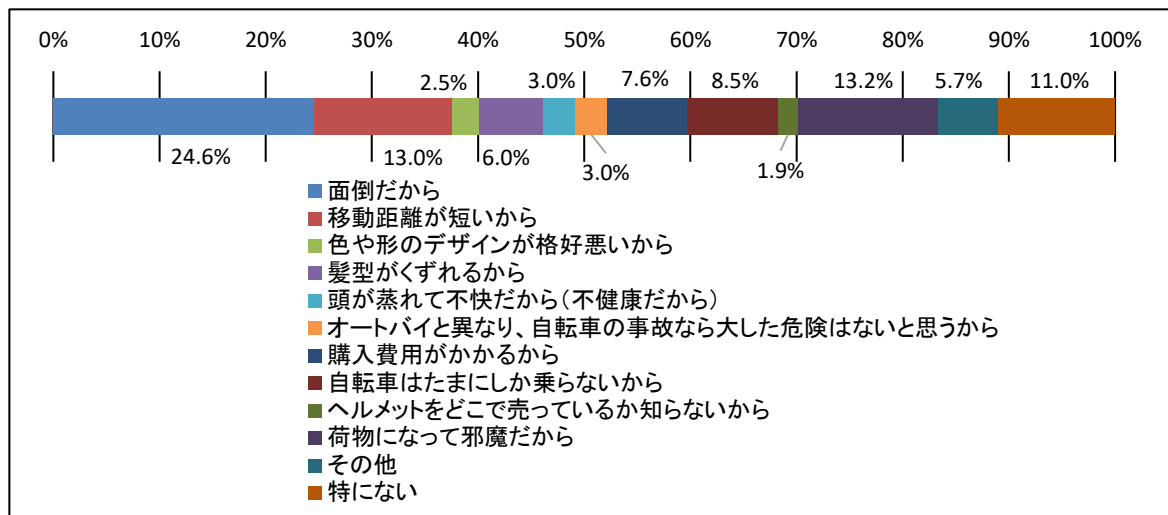
選択枝	件数	割合
毎回、必ず着用している	5	0.9%
毎回必ずではないが、概ね着用している	3	0.6%
あまり着用しないが、時々は着用している	7	1.3%
ヘルメットは所有しているが着用していない	21	3.9%
ヘルメットを所有していない	498	93.3%
合計	534	100.0%



問11 問10で、「毎回必ずではないが、概ね着用している」「あまり着用しないが、時々着用している」「ヘルメットは所有しているが着用していない」「ヘルメットを所有していない」を選択された方にお聞きします。
あなたがヘルメットを着用しない主な理由はどのようなものでしょうか？

●「面倒だから」が24.6%と最も高い。

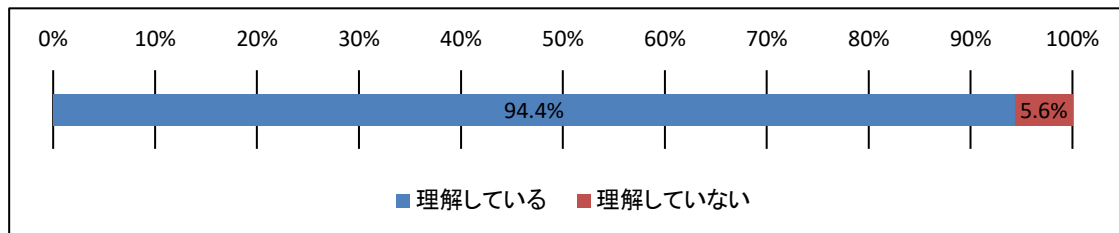
選択枝	件数	割合
面倒だから	130	24.6%
移動距離が短いから	69	13.0%
色や形のデザインが格好悪いから	13	2.5%
髪型がくずれるから	32	6.0%
頭が蒸れて不快だから(不健康だから)	16	3.0%
オートバイと異なり、自転車の事故なら大した危険はないと思うから	16	3.0%
購入費用がかかるから	40	7.6%
自転車はたまにしか乗らないから	45	8.5%
ヘルメットをどこで売っているか知らないから	10	1.9%
荷物になって邪魔だから	70	13.2%
その他	30	5.7%
特にない	58	11.0%
合計	529	100.0%



問12 自転車の事故でも被害の大きさにより、非常に高額な賠償金を支払わなければならない場合があります。自転車の事故により他人に損害を与えた場合に、補償する保険(個人賠償責任保険)があります。この保険には「自転車保険」という名称が付いているものだけでなく、自動車保険や火災保険、傷害保険など身近な保険に、自転車事故もカバーできる特約を付帯されているものもあります。
あなたは、このような自転車事故を補償する保険への加入の必要性を理解していますか？

●「理解している」が94.4%と極めて高く、ほとんどの人が自転車保険の必要性について理解している。

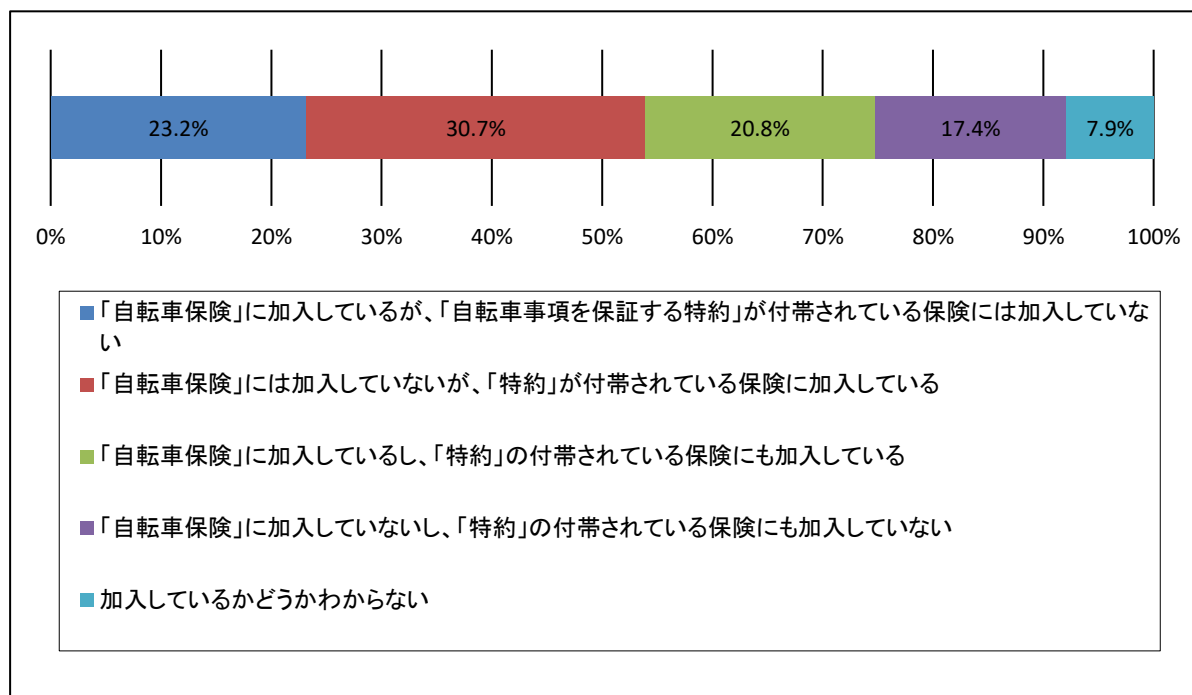
選択枝	件数	割合
理解している	504	94.4%
理解していない	30	5.6%
合計	534	100.0%



問13 あなたは自転車の事故を補償する「自転車保険」に加入していますか？
 もしくは加入している自動車保険、火災保険、傷害保険などの身近な保険に、「自転車事故も補償する特約」が
 付帯されていますか？
 (あなたのご家族の加入している保険により、あなたの自転車事故が補償される場合も含まれます)

●何らかの形で自転車の事故を補償する保険に加入している割合は、74.7%である。

選択枝	件数	割合
「自転車保険」に加入しているが、「自転車事項を保証する特約」が付帯されている保険には加入していない	124	23.2%
「自転車保険」には加入していないが、「特約」が付帯されている保険に加入している	164	30.7%
「自転車保険」に加入しているし、「特約」の付帯されている保険にも加入している	111	20.8%
「自転車保険」に加入していないし、「特約」の付帯されている保険にも加入していない	93	17.4%
加入しているかどうかわからない	42	7.9%
合計	534	100.0%

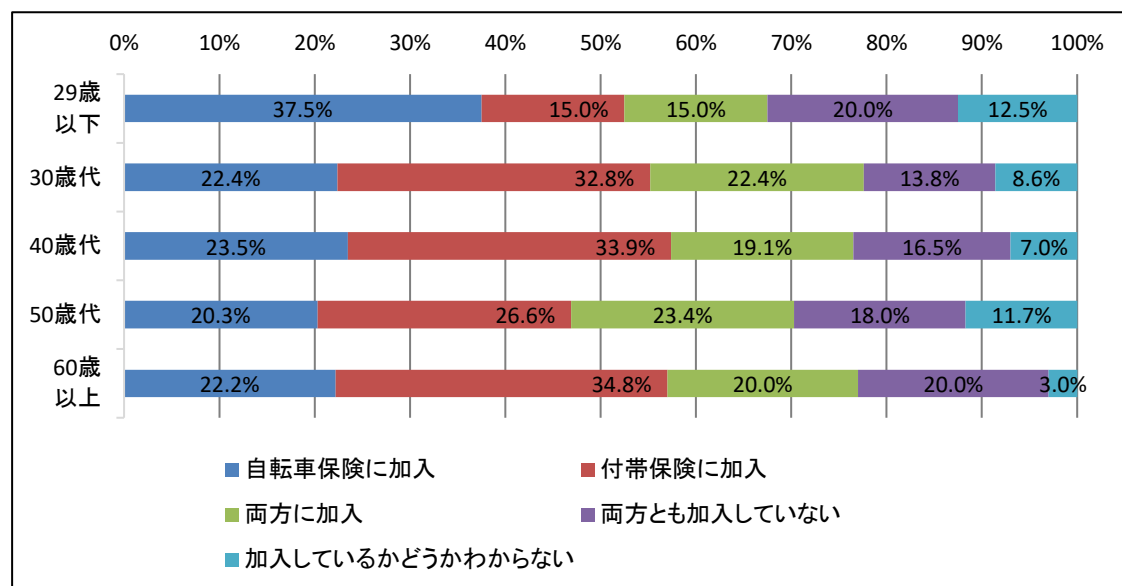


【年代別の保険加入率】

●29歳以下の保険加入の割合は、他の年代に比べて低くなっている。

	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
自転車保険加入	15	26	27	26	30
	37.5%	22.4%	23.5%	20.3%	22.2%
付帯保険加入	6	38	39	34	47
	15.0%	32.8%	33.9%	26.6%	34.8%
両方へ加入	6	26	22	30	27
	15.0%	22.4%	19.1%	23.4%	20.0%
両方とも加入していない	8	16	19	23	27
	20.0%	13.8%	16.5%	18.0%	20.0%
加入しているかわからない	5	10	8	15	4
	12.5%	8.6%	7.0%	11.7%	3.0%
合計	40	116	115	128	135
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

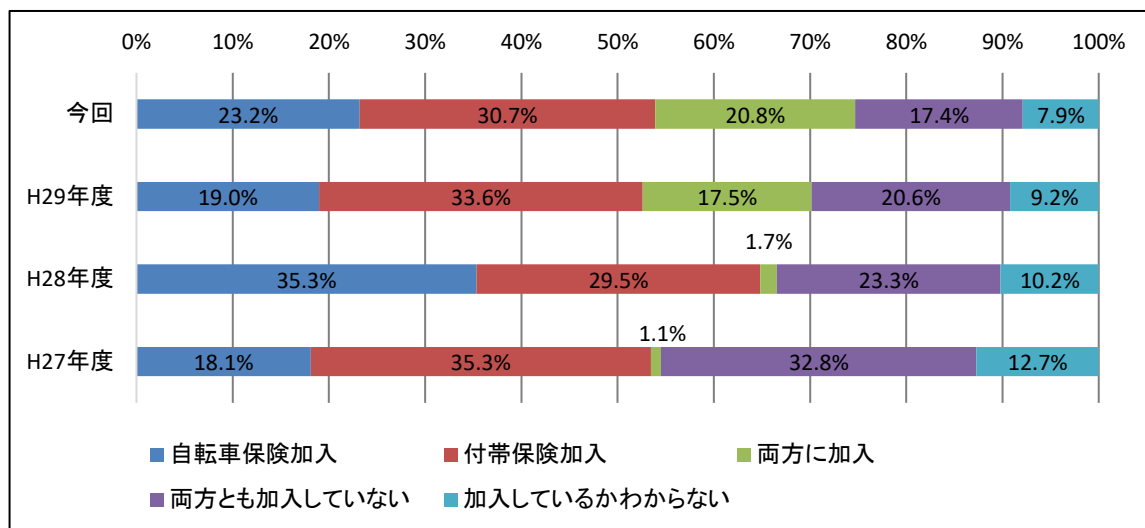
	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
何らかの形で保険へ加入している人の合計	27	90	88	90	104
	67.5%	77.6%	76.5%	70.3%	77.0%



【過去3年間(平成27～29年度)と今回の比較】

●今回の調査では何らかの形で保険に加入している率は74.7%であり、27年度調査の54.5%と比較して20.2ポイント、28年度調査の66.5%と比較して8.2ポイント、29年度調査の70.1%と比較して4.6ポイント上昇しており、保険の加入率は増加傾向にある。

	H27年度	H28年度	H29年度	今回
自転車保険加入	84 18.1%	187 35.3%	105 19.0%	124 23.2%
付帯保険加入	164 35.3%	156 29.5%	186 33.6%	164 30.7%
両方へ加入	5 1.1%	9 1.7%	97 17.5%	111 20.8%
両方とも加入していない	152 32.8%	123 23.3%	114 20.6%	93 17.4%
加入しているかわからない	59 12.7%	54 10.2%	51 9.2%	42 7.9%
合計	464 100.0%	529 100.0%	553 100.0%	534 100.0%



問14 問13で、「自転車保険に加入していないし、特約の付帯されている保険にも加入していない」を選択された方にお聞きします。

自転車事故を補償する保険に加入していない理由は何ですか？

最も当てはまるものを3つまで選んでください

●「加入のきっかけがなかったから」「内容を知らないから」「保険があることを知らないから」の合計が54.8%と、情報不足による理由が過半数を占めている。

選択枝	件数	割合
加入のきっかけがなかったから	27	29.0%
保険料が高いから	23	24.7%
自分は自転車に乗る時は十分注意しているので、加害者になることは考えられないから	20	21.5%
自転車保険は知っているが、どのような補償内容の保険があるのか知らないから	19	20.4%
保険に加入する手続きが面倒だから	16	17.2%
自動車やオートバイと異なり自転車で事故を起こしても、保険で補償するほどの必要性はないと思うから	7	7.5%
自転車事故を補償する保険があることを知らないから	5	5.4%
その他	10	10.8%
特にない(複数選択不可)	4	4.3%

